

令和2年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	27 公共交通 ー安全で便利な公共交通ネットワークづくりを進めますー			
重点プロジェクト					
主管課	都市政策部 都市計画課			評価責任者	櫻井 進一
				評価日	令和3年6月4日
関連課	障がい福祉課、高齢福祉課、子育て支援課				
目標	より安全で便利な公共交通機関となるよう改善を進めるとともに、利用しやすい公共交通ネットワークの整備を進めます。				
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 民間の公共交通機関との連携 ○東武鉄道や民間路線バス事業者に対し「東武東上線改善対策協議会」や「ふじみ野市地域公共交通活性化協議会」などを通じて、利便性の向上、駅・踏切施設の改善、バス停留所の安全対策などの要望を行います。</p> <p>(2) 交通結節点の機能強化 ○市内公共交通の利便性をより高めるため、上福岡駅東口の駅前整備を進めます。</p> <p>(3) 市内循環ワゴンの充実 ○より便利で持続可能な市内循環ワゴンを目指し、市民のニーズを把握した上で、必要に応じ運行ルートやダイヤの見直しなどを行います。</p>				

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	市内循環ワゴン乗客数					
		説明	本格運行の開始から4年目を迎え、市民の方々へコース・ダイヤが定着したことにより、市内循環ワゴン乗降客数の目標は達成したが、コロナ禍の影響を受け、利用者数は減少した。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	41,579	42,956	44,333	45,710	47,088	48,465
		実績値	86,101	92,775	66,072			
	指標2	指標名	市内循環ワゴン利用者の満足度					
		説明	令和3、4年度は市民等の意向要望を踏まえながら運行ルート・ダイヤ見直しの検討を行い、令和5年度に運行ルート・ダイヤ見直し後の満足度調査を実施する予定である。					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値	-	-	-			
	指標3	指標名						
		説明						
		単位						
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標4	指標名						
		説明						
単位								
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	48,368	49,524	57,624	60,109		
	人件費	9,716	9,574	13,698	16,114		
収入	特定財源	0	0	0	0		
	一般財源	58,084	59,098	71,322	76,223		

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	待合環境の改善	市内循環ワゴン『ふじみ野駅西口停留所』にベンチを設置した。	『ふじみ野駅西口停留所』にベンチを設置することにより、利用者が座ってワゴンを待つことができるようになり、待合環境が改善した。	市内循環ワゴン運行事業
取組②	利便性の向上	コースマップ・時刻表のポケットサイズ版を作成した。	市内循環ワゴン車内、本庁舎受付、大井総合支所等で、ポケットサイズのコースマップ・時刻表の配布を開始し、利用者がコースマップ・時刻表を携帯しやすくなり、利便性向上に寄与した。	市内循環ワゴン運行事業
取組③				
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	市内循環ワゴンは、移動制約者の生活の足の確保及び公共交通空白不便地域の解消の2点を目的として、平成28年度の実証運行を経て、平成29年度から本格運行を開始し、令和2年度で現在のコースダイヤでの運行4年目を経過した。市内循環ワゴンの乗降客数は、平成28年度の実証運行時の約3万8,000人に対し、令和元年度は約9万2,000人と4年間で約2.4倍に増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は約6万6,000人となり、前年度と比較して約72%まで減少した。コロナ禍において市内循環ワゴン車両内では、車内のアルコール消毒の実施、運転席の窓と後部座席の窓を開けて走行することによる換気、運転席と後部座席を分けるビニールシートの設置等の感染防止対策を実施し、新型コロナウイルス感染の予防に努めながら、運行を継続した。引き続き、新型コロナウイルスの感染防止のための取組みに努めながら、運行を継続するとともに、今後はアンケートを実施し、必要に応じて、ふじみ野市地域公共交通活性化協議会において、コース・ダイヤ改正等の検討を行い、安全で便利な公共交通ネットワークづくりを推進していく。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	市内循環ワゴン運行事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	27 公共交通 –安全で便利な公共交通ネットワークづくりを進めます–		
予算費目	一般会計 08土木費 01土木管理費 02交通安全対策費			
所管部課	都市政策部 都市計画課	評価責任者	谷古宇 洋介	
事務事業期間	平成28年度～	評価日	令和3年4月21日	
個別計画 根拠法令・条例等	道路運送法・活性化再生法			
事務事業の内容	事務事業の目的	より安全で便利な公共交通機関となるよう改善を進めるとともに、利用しやすい公共交通ネットワークの整備を進め、移動制約者の生活の足の確保及び公共交通空白不便地域の解消を図ることを目的とする。		
	事務事業の経緯	旧大井町で平成14年10月から運行を開始し、合併協議で事業を継続した上で、平成22年7月1日から路線とダイヤを見直し、全市域で運行を開始した。 平成24年度は路線とダイヤを見直すため、アンケート調査を実施した。 平成28年度は路線とダイヤを見直し、バスをワゴンタイプへ変更し実証運行を実施した。		
	事務事業の概要	市内循環ワゴンのコース、ダイヤ、料金の設定などについては、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく法定協議会であるふじみ野市地域公共交通活性化協議会が掌握しており、市からの負担金を活用し、市内循環ワゴンの運営を行っている。なお、この協議会は、学識経験者、交通管理者、道路管理者、関係する公共交通事業者、市民代表等で構成されている。		
	令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度のふじみ野市地域公共交通活性化協議会において、令和3年度にアンケートを実施し、必要に応じてコース・ダイヤの見直しの検討を行う予定とした。 ○『ふじみ野駅西口』停留所にベンチを設置した。 ○ポケットサイズの時刻表・コースマップを作成し、令和3年4月から配布予定である。 ○新型コロナウイルス感染症対策を実施し、コロナ禍においても運行を継続した。 		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.20	1.50	0.00
		人件費	9,574	12,086	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		9,574	12,086	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	11	14	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	435	0	
	負担金、補助及び交付金	49,513	57,145	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	3	0		
支出合計		59,098	69,682	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		59,098	69,682	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		517	600	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市内循環ワゴンの乗客数		
	説明	より便利で持続可能な公共交通を構築するため設定。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	48,465	48,465	48,465
	実績値	92,775	66,072	
指標 2	指標名	利用者の満足度		
	説明	市民ニーズを反映した交通ネットワークを構築するため設定。 なお、令和2年度は利用者満足度アンケートを実施せず、令和5年度に実施する予定である。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	99.00	99.30	99.50
	実績値	0.00	0.00	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○市内循環ワゴン乗客数 本格運行開始から4年目を迎え、ダイヤ・コースの定着が進み、令和元年度まで乗客数を順調に伸ばしていたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受けて前年度比71%となった。 【令和2年度】乗客数 66,072人 【令和元年度】乗客数 92,775人 ○待合環境の改善 市民から要望を受け、『ふじみ野駅西口』停留所にベンチを設置した。 ○ポケットサイズの時刻表・コースマップの作成 利用者の利便性向上を図るため、時刻表・コースマップのポケットサイズ版を作成し、令和3年4月から配布予定。 ○ふじみ野市地域公共交通活性化協議会 令和2年度のふじみ野市地域公共交通活性化協議会において、令和3年度にアンケートを実施し、必要に応じてコース・ダイヤの見直しの検討を行う予定とした。 ○有料広告の掲載 ふじみん号の有料広告について、令和2年度において新規の申込みは無く、令和2年度は、令和元年度に引き続いて1社（病院）の広告を掲載した。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
完了	令和3年度にアンケートを実施し、利用者 のみの ニーズに留まらず、多くの市民の意見を把握するとともに、社会情勢を加味したうえ、必要に応じてコース・ダイヤの見直しの検討を行い、持続可能でより利用しやすい公共交通となるように進めていく。 また、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、運行を継続していく。
中長期的方向性	なお、市内循環ワゴン運行事業は、令和3年度から交通政策推進事業に統合される。
—	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		交通政策推進事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	27 公共交通 –安全で便利な公共交通ネットワークづくりを進めます–		
予算費目 一般会計 08土木費 01土木管理費 02交通安全対策費				
所管部課		都市政策部 都市計画課	評価責任者	谷古宇 洋介
事務事業期間		昭和62年度～	評価日	令和3年4月21日
個別計画 根拠法令・条例等 東武東上線改善対策協議会規約				
事務事業の内容	事務事業の目的	東武東上線の輸送力の増強及び鉄道施設の整備・改善を促進することを目的とする。		
	事務事業の経緯	東武東上線改善対策協議会は、昭和62年7月31日東武東上線の鉄道施設の整備・改善を促進することを目的として、東武東上線沿線の近隣市町で発足し、以来、東武鉄道株式会社へ要望を続けている。		
	事務事業の概要	東武東上線改善対策協議会を通じて、東武東上線の鉄道施設の改善について、毎年要望活動を行っている。なお、東武東上線改善対策協議会は、和光市、朝霞市、新座市、志木市、富士見市、三芳町、川越市、ふじみ野市で形成されている。		
	令和2年度の主な取組	令和2年度においても東武東上線改善対策協議会により要望活動を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、延期となっている。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.00	0.20	2.00
		人件費	0	1,612	16,114
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		0	1,612	16,114	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	12	
	委託料	0	0	5,786	
	使用料及び賃借料	0	23	23	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	5	54,281	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	0	0	7	
支出合計		0	1,640	76,223	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		0	1,640	76,223	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		0	14	665	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	要望活動回数		
	説明	東武東上線の鉄道施設の改善を図るため、東武鉄道株式会社に対し、東武東上線改善対策協議会を通じて、一年度に一度東武東上線の改善を要望することを指標とする。なお令和3年度から、「交通政策事業」と「市内循環ワゴン運行事業」が統合されることに伴い、本指標は廃止するものとした。		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	1	1	0
	実績値	0	1	
指標 2	指標名	市内循環ワゴンの乗客数		
	説明	より便利で持続可能な公共交通を構築するために設定する。 なお、本指標は、令和2年度末で「交通政策事業」と統合される「市内循環ワゴン運行事業」におけるものであるため、令和2年度目標値、実績値は「市内循環ワゴン運行事業」に記載されている。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	0	48,465
	実績値	0	0	
指標 3	指標名	利用者の満足度		
	説明	市民ニーズを反映した交通ネットワークを構築するために設定する。 なお、本指標は、令和2年度末で本事業と統合される「市内循環ワゴン運行事業」におけるものであるため、令和2年度目標値、実績値は「市内循環ワゴン運行事業」に記載されている。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0.00	0.00	99.50
	実績値	0.00	0.00	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>○東武東上線改善対策協議会【要望活動】</p> <p>新型コロナウイルスの影響を受け、令和2年度においては、要望活動を延期しているところであるが、実施された際には、東武東上線の輸送力の増強及び鉄道施設の整備・改善を促進することを目的に粘り強く要望していく。</p>
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	今後も引き続き、東武東上線の輸送力の増強及び鉄道施設の整備、改善を促進することを目的として粘り強く要望を続けていく。 なお、令和3年度から市内循環ワゴン運行事業が交通政策推進事業に統合される。
中長期的方向性	
継続	